WAP551およびWAP561アクセスポイントでの WiFi Protected Access Pre-Shared Key(WPA-PSK)複雑度の設定

目的

アクセスポイント(AP)でWiFi Protected Access(WPA)が設定されている場合、クライアントを安全に認証するためにWPA事前共有キーを選択できます。WPA-PSKの複雑度をイネーブルにすると、認証プロセスで使用されるキーの複雑度要件を設定できます。より複雑なキーは、セキュリティを強化します。

この記事では、WAP5551およびWAP561アクセスポイントでWPA事前共有キー複雑度 (WPA-PSK)を設定する方法について説明します。

適用可能なデバイス

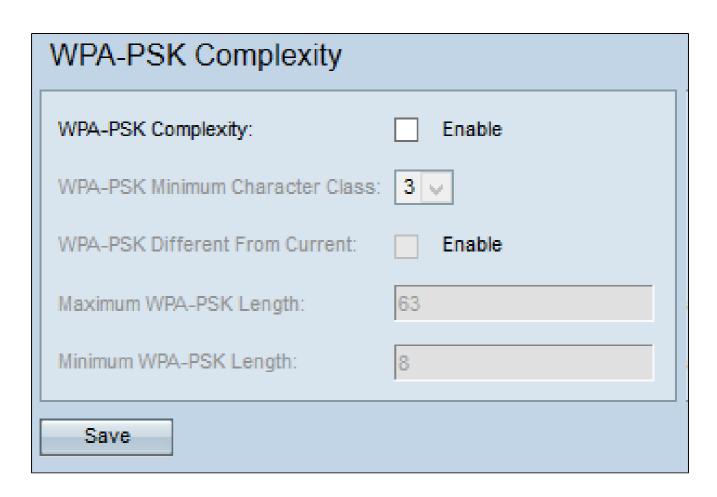
- · WAP551
- · WAP561

[Software Version]

· v1.0.4.2

WPA-PSKの複雑度の設定

ステップ 1: Web設定ユーティリティにログインし、System Security > WPA-PSK Complexityの順に選択します。WPA-PSK Complexityページが開きます。



WPA-PSK Complexity	
WPA-PSK Complexity:	✓ Enable
WPA-PSK Minimum Character Class:	
WPA-PSK Different From Current:	1 nable
Maximum WPA-PSK Length:	3
Minimum WPA-PSK Length:	8
Save	

ステップ 2: WPA-PSK ComplexityフィールドのEnableチェックボックスにチェックマークを付けて、APが新しいWPA事前共有キーの複雑度をチェックできるようにします。

ステップ 3: WPA-PSK Minimum Character Classドロップダウンリストから、キー文字列で表す必要がある文字クラスの最小数を選択します。 2つの文字クラスを選択した場合、事前共有キーには大文字、小文字、数字、特殊文字など、少なくとも2つの文字クラスが含まれている必要があります。

WPA-PSK Complexity	
WPA-PSK Complexity:	✓ Enable
WPA-PSK Minimum Character Class:	4 🗸
WPA-PSK Different From Current:	✓ Enable
Maximum WPA-PSK Length:	40
Minimum WPA-PSK Length:	9
Save	

ステップ4:(オプション)現在のキーの有効期限が切れているときに別の事前共有キーを入力するには、WPA-PSK Different From CurrentフィールドのEnableチェックボックスにチェックマークを付けます。無効にした場合は、以前に使用したのと同じキーを再入力できます。

ステップ 5: Maximum WPA-PSK Lengthフィールドにキーの最大文字数を入力します。範囲は 64 ~ 80 です。

手順 6: Minimum WPA-PSK Lengthフィールドに、キーに設定できる最小文字数を入力します。範囲は 8 ~ 32 です。

手順 7: [Save] をクリックして、設定を保存します。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版(リンクからアクセス可能)もあわせて参照することを推奨します。